

第2次

岩沼市地域福祉活動計画

(令和3年度～令和7年度)



基本理念

みんなでつくる 福祉のまち いわぬま

我が事としてお互いに思いやりの心を持ち、一人ひとりが役割を担い、共に支え合い、これからもこのまちに住み続けたいと思える “誰もが幸せを感じるまち いわぬま” をみんなで作っていきましょう。

基本方針

◎福祉の心を育み幸せづくりをみんなで共に

子どもから大人まで、誰もが幸せを実感できるよう、福祉学習やボランティア活動などを通して思いやりの心を育むことを、みんなで共に取り組んでいきましょう。

◎誰もが主役になれる居場所をみんなで共に

一人ひとりが役割を担い、自分の居場所が実感できるよう、社会を構成するすべての人が尊厳をもって社会の一員として参画・交流することのできる地域共生社会の実現に向けて、みんなで共に取り組んでいきましょう。

◎地域の思いを大切に支え合いをみんなで共に

一人がみんなを支え、みんなが一人を支え、一人の思い、みんなの思い、地域の思いを形にできるよう、相談や各種支援事業を通して支え合うことを、みんなで共に取り組んでいきましょう。

社会福祉法人 岩沼市社会福祉協議会

〒989-2427 宮城県岩沼市里の杜三丁目4番15号

TEL 0223-29-3711 FAX 0223-29-3341

ホームページ <http://www.iwashakyo.or.jp/>メール qq2f7da9@wonder.ocn.ne.jp

推進目標1 地域も関わり合える福祉学習の充実

1. 継続的な福祉学習・福祉教育の実践

- ・小中学校全8校を福祉教育実践普及校に指定します。
- ・小学校から中学校へと段階的・継続的な福祉教育が実践できるよう環境整備に努めます。
- ・地域や関係機関と連携した福祉教育を支援します。
- ・児童生徒の発達段階に合わせた福祉体験学習の標準的なモデルプログラムを作成します。

2. 地域共生社会への理解と認め合える心を育む

- ・小中学校や関係機関とさらに連携を強化します。
- ・児童生徒が、自分達も地域共生社会の一員であるとの認識や理解を深められるよう取り組みます。
- ・相手の立場になって考え行動できる思いやりの心の育成に努めます。

3. 福祉に触れる学びの実践

- ・児童生徒にボランティア活動実践の機会を提供します。

- ・多くの児童生徒に参加してもらえるよう、ボランティア体験の周知に努めます。

実施事業

- 福祉教育推進事業
- 次世代支援事業



推進目標2 地域を支えるボランティア育成と活動支援の充実

1. ボランティア育成の推進

- ・ボランティア養成講座やボランティア交流会等を通して、ボランティアの育成及びリーダーとなる人材の育成に努めます。
- ・地域における復旧・復興の支援活動を行う災害ボランティアの育成に努めます。

2. ボランティア活動支援の充実

- ・社協だよりやホームページ等を有効に活用し、積極的にボランティア情報を提供します。
- ・遊具等の貸出しを行うなど、ボランティア活動支援の充実を図ります。
- ・個人や団体のボランティア活動を支援します。
- ・ボランティア交流会等を継続開催し、情報交換やネットワークづくりなどを支援します。

3. ボランティアセンター機能（仕組み）の充実

- ・地域や関係機関と連携して、生活の不安や困りごとなどのニーズの把握に努めます。
- ・ボランティア登録制を推進します。

- ・ボランティア調整機能の充実を図ります。
- ・大規模災害時における災害ボランティアセンターの運営や支援活動に努めます。
- ・岩沼市をはじめ県内外の社会福祉協議会や関係機関・団体等との連携体制を整備・強化します。

実施事業

- ボランティア育成・活動支援事業
- 遊具等無料貸出事業



推進目標3 気軽に参加できる地域づくりの充実

1. 地域や居場所づくりへの支援

- ・地域共生社会の実現に向けた地域づくりを支援します。
- ・サロンの立ち上げや運営を支援します。
- ・講師やボランティアの派遣等により活動を支援します。
- ・サロン等の情報収集に努め、町内会等へ情報を提供します。

2. 地域資源・社会資源の発掘

- ・趣味や特技等を持つ多くの人材を発掘し、地域や社会の資源として地域貢献のきっかけづくりをサポートします。
- ・学習や研修を終えた方々が、地域で活躍できるよう支援します。

3. 地域支援・団体支援

- ・市民福祉フォーラム等を開催します。
- ・地域の課題を把握し、解決できるリーダーの育成に努めます。

- ・助成制度等を通じて、町内会やボランティア団体等の活動を支援します。

実施事業

- 市民福祉フォーラム
- 地域サロン支援事業
- 地域支え合い活動助成事業



推進目標4 一人ひとりを支える相談・生活支援の充実

1. 相談機能の充実

- ・情報交換会等を通じて、他の相談機関や相談員同士の連携を強化します。
- ・各種制度と連動することにより、相談機能を充実・強化します。
- ・社協で実施している各種相談事業等の連携をさらに強化し、相談・支援体制の充実を図ります。

2. 生活困窮世帯への自立生活支援の充実

- ・関係機関と連携して各種支援事業・制度を活用し、自立に向けた生活支援を実施します。
- ・大規模災害等が発生した場合にも、岩沼市をはじめ関係機関・団体等と連携し、生活困窮世帯等への支援を実施します。

3. 高齢者や障害者がいる世帯等への生活支援の充実

- ・安心した生活が地域で送れるよう権利の擁護に努めます。
- ・市民と協力し見守り活動や交流事業を実施します。
- ・サポート事業などを通して生活支援を実施します。

実施事業

- ひとり暮らし高齢者会食のつどい
- 高齢者夫婦世帯研修・交流会
- 愛の福祉短期貸付事業
- 車いす無料貸出事業
- 生活困窮者自立支援事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 善意銀行
- ふれあい福祉センター相談事業
- 日常生活自立支援事業（まもりーぶ）
- 自発的活動支援事業
- 障害者スポーツ交流事業
- 歳末たすけあい配分金事業



推進目標5 地域福祉を推進する連携・協働の充実

1. 連携・協働の関係づくり

- ・市民をはじめ関係機関・各種団体などと連携・協働の関係づくりに努めます。
- ・互いに協力し合い、福祉を高めていくことの大切さの共有に努めます。

2. 連携・協働による地域福祉の推進

- ・地域共生社会の実現に向けた地域の支え合い、助け合いによる地域福祉が推進されるよう、コーディネート機能を強化します。
- ・地域の思いを形にできるようにサポートやフォローの体制を構築し、地域づくりを支援します。

3. 共同募金委員会・老人クラブ連合会との連携・協働の推進

- ・岩沼市共同募金委員会との連携を強化し、活動財源の確保と地域福祉活動を推進します。
- ・岩沼市老人クラブ連合会と連携・協働して地域福祉を推進します。

実施事業

- ふれあいの広場
- 法人化50周年記念岩沼市社会福祉大会
- 団体支援（共同募金委員会・老人クラブ連合会）
- 町内会連携地域福祉活動モデル事業
- 生活支援体制整備事業



推進目標6 地域を支えるための基盤強化

1. 広報啓発活動の充実

- ・社協だよりやホームページの内容を充実します。
- ・各種講座、サロンの案内やボランティアに関する情報の提供に努めます。
- ・他の情報伝達媒体等も活用し、効率的な情報の発信に努めます。

2. 自主財源の確保と役職員の情報の共有化

- ・自主財源の確保と法人の安定した運営に努めます。
- ・介護保険制度利用者の満足度を高め、利用者の確保に努めます。
- ・役職員の共通理解を深め、情報の共有化に努めます。
- ・各種研修などを通して、職員の資質向上に努めます。

3. 地域福祉活動計画の周知・進行管理

- ・社協だより等を活用し、計画の周知に努めます。
- ・事業の評価、見直しを図り、計画の適切な進行管理に努めます。

実施事業

- 地域福祉活動計画推進事業
- 広報啓発事業
- 法人運営事業
- 役職員研修事業
- CSW（地域支え合い活動）支援職員養成事業
- デイサービスセンターさとのもり管理運営事業
- 居宅介護支援事業
- 地域包括支援センター管理運営事業（岩小学区）

